

# ふくしま未来 T A C 情報 No.17

令和6年1月15日  
(再) 令和6年2月 5日  
J A ふくしま未来営農経済部

## 施設の補強や除雪、果樹棚や樹体被害の防止対策に努めましょう

### 1 作業の安全確保

- ★ 降雪や積雪の対策を行う場合は、安全を確保した上で作業しましょう。
- ★ 加温のためにハウス内部に家庭用暖房器等を持ち込む場合は、火災や一酸化炭素中毒に注意し、長時間ハウス内に滞在しないようにしましょう。
- ★ ハウスの屋根に積雪がある場合は、倒壊の恐れがあるため施設内に入らないようにしましょう。
- ★ 除雪を行う場合は、滑りにくい履物をはくなどして作業しましょう。



きゅうりハウス

### 2 施設園芸

#### (1) 事前対策

- ① 冬期間に使用しないハウスのビニールは、事前に除去しましょう。
- ② 屋根雪の滑落促進のため突出物などを点検しましょう。積雪による被覆資材のゆるみに注意し、杭やハウスバンドによるおさえを強化しましょう。
- ③ ハイプハウスの補強対策として、中柱等で補強しましょう。



筋交い直管による補強

#### (2) 自分で行うことができる対策

- ① 筋交い直管による補強（耐力20%程度向上）  
筋交い直管は、各アーチパイプと部品等で固定し、下端部は必ず地面に30cm以上埋め込みます。
- ② 中柱（仮支柱）による補強  
棟部に対し、左右バランスの良い中心位置に設置します。支柱の根元は沈み込まないようにブロック等を置きます。



中柱による補強

### (3) 除雪

- ① 屋根や側面の雪は、安全を確認して速やかに除雪しましょう。除雪を行う場合は、ハウスの両サイドの雪をある程度取り除いてから上部にたまった雪を下ろし、再度除雪するようにしましょう。また、ハウスの片側だけ除雪すると倒壊する恐れがあるので、両側から均等に除雪するようにしましょう。
- ② 古い被覆資材は滑りが悪いので、優先的に除雪しましょう。また、短時間に多量の降雪があり、雪下ろしが間に合わない場合は、被覆資材を切るなどして施設の倒壊を防ぎましょう。
- ③ 暖房機が設置されている場合は、内部のカーテンを開放した上で、可能な範囲で室温を高め屋根雪を滑落させるようにしましょう。

### (4) 低温対策

ハウス内で農作物を栽培している場合は、農作物が生育遅延や低温障害等の影響を受けないよう、加温等により施設内の適正な温度管理に努めましょう。また、燃料残量を確認するとともに暖房機器や電源、配線等についても正常に機能するか事前に確認しましょう。

### (5) 事後の施設点検と補修

降雪後はハウスや被覆資材各部の損傷、ゆるみ、たるみ等を点検し、必要に応じて補修を行いましょ。特に、主管をつなぐジョイントや専用金具がゆるんでいる場合が多いので、確認し補修しましょ。

#### ★除雪前チェックリスト★

- 最新の気象情報、警報、注意報を常にチェックしていますか？
- 暖房機の燃油残量は十分にありますか？
- 暖房機は正常に作動するか確認しましたか？
- 筋かいなどの留め金具に緩みがないか点検しましたか？
- 準備していた中柱をたてるなど応急的な補強はしましたか？
- 作物を栽培していないハウスは被覆資材を外しましたか？
- 雪の滑落を妨げる寒冷紗や遮光ネットなどの外部遮光資材等は外しましたか？

## 3 果樹

### (1) 樹体被害等の防止対策

- ① 樹体や果樹棚への着雪が多い場合は、速やかに雪下ろしを行いましょ。また、主枝、亜主枝などには支柱を添え、折損などの未然防止に万全を期しましょ。
- ② りんごのわい化栽培等では、主幹部が木支柱やトレリスへしっかり固定されているか確認しましょ。

### (2) 樹体被害等を受けた場合の対策

- ① 大枝が折損した場合は、折れた部分からやや基部の健全な部分まで切り戻します。さらに、傷口から病害などが侵入しないように、傷口の保護に努めましょ。
- ② 果樹棚のワイヤー等が破損した場合は、速やかに修復や補強を実施しましょ。